

庁舎の一本化に関する市民説明会（萩原地域）の議事録

出席者 総務部長・総務課長・総務課今村・総務課土屋・総務課曾我
経営管理部長・総合政策課長 計 7人
市民 50人

会場 星雲会館 天慶の間

日時 平成26年3月13日（木） 午後7時～午後8時50分

市が考える庁舎の一本化について資料（別紙）に基づき説明し、質疑を受けた。

○市民

資料4ページについて、現在の建物に耐震が無く、つぶす場合に振興事務所の機能を他の施設に移すとあるが、近隣に移すのにふさわしい施設がない場合どのように考えているのか。

耐震性の無い場合は取り壊すこともあるというが、市民に不安をかけないために具体的にどこに施設か教えてほしい。

●総合政策課長

耐震性の無い振興事務所をどのようにするのはまだ決まっています。ただ、この資料にも書いてあるように、耐震性の無い建物の中で事務を行っていくことが適切でない場合は、他の施設に拠点を移すこともあります。またどの施設をどこにということはありません。

近くに移せる施設が無い場合についても、まだ何も決まっていますが、民間企業等の施設の利用も視野に入れながら考えていきたいと思っています。

○市民

下呂病院跡地が考えられるが、職員の駐車場を含めたりすると面積的には狭いと思う。面積から考えると下呂地域では無理ではないか。萩原で建てることを考えてはどうか。

6000㎡には、駐車場も含まれておるのか。

●総務課長

萩原で庁舎をということについては、お答えすることはできません。

6,000㎡の中には職員の駐車場は含まれていません。別途考えていかなければならないものです。ただ、職員の場合は、離れたところから歩いて行かなければならないとも考えています。

まずは来庁者の駐車場と公用車の駐車場、それに庁舎の敷地を考えていく必要があります。6,000㎡以上必要と考えていますが、あくまで4階建と仮定した場合の数字ですので、庁舎の形態によって異なります。

○市民

6000 m²には、来庁者の駐車場は含まれているのか。

●総務課長

含まれています。150 台を想定しています。

○市民

財源がまったくないということなので、現在考えられる大きい市の事業に優先順位をつけて、他の課題でも重要なことがないのか考えるべきでは。

また、新たな負債を負うのではなく、今ある財源の中で、できる事をやるべきであると思うし、財源に見合った整備を行うべきである。

また、この市民説明会の意見の聞き方、問題提起の仕方について、もう少し意見が述べやすいように工夫してほしい。先日の下呂の説明会のようにしてもらいたい。

●総務課長

意見ばかりではなく、市が提示した資料についてわからないことがあれば聞いていただければと思います。

大変難しい事業の優先順位についてですが、庁舎整備は財源があって進めることが事業ではありませんが、今考えている合併特例債は有利であってもあくまで借金であると考えています。

ただ、現時点は、実際に事業を行えるタイミングでもあると判断しています。

○市民

下呂庁舎の駐車場は狭いと感じている。

合併して 10 年も経つので一本化していかなければならないと思うが、平成 30 年という事で期間がない。市民アンケートの中にも合併特例債が利用できるときに行うべき、もっと早く一本化すべきとあり、早急に進めなければならないが、そのためにある程度具体的に進めていかなければならないと思う。結論ありきではないが、県の羽根グラウンドのあたりはどうか。総合庁舎との連携もあるし、駐車場も兼用できると思う。

●総務部長

下呂市の財政事業は厳しく、庁舎一本化以外にも行わなければならない課題も事実たくさんあります。ただ、今後大きな地震が起きた時、庁舎のあり方、災害対応ができるのかどうかを考えると、相当な危機感を持たなければなりません。

また、効率的な市政運営のために一つにまとまったところで、スリムな行政運営をすることで最終的に費用を安くすることが必要と考えています。そのように考えたとき、合併特例債を使うことが一番有利であるとの考えを持っています。

庁舎の整備に利用できる補助制度というものはほとんどなく、何らかのかたちでの借金か積み立てを行わないといけません。同じ借金をするなら国から財源措置のある借金が良いと考えています。

今までの話のとおり、財源がありませんので庁舎整備のうち、用地にお金をかけないという方法も考えられます。最終的にどうするかはこれからの議論になりますが、建

設費も用地費も少なくすることを頭において進めていく必要があると考えています。

○市民

アンケート結果について、庁舎の一本化を知らなかったかたが半数とあるが、その点についてどうお考えか。

●総務課長

庁舎の一本化の話は、合併以降まったく無かったものではありませんが、昨年11月に下呂市新庁舎整備検討委員会が発足した時に、もっと周知する必要があると反省しています。新聞報道等はさせていただきましたが、委員会だよりの1号は2月1日付で、第2号は3月1日付の発行ということで、後手になってしまったと感じています。

今後については、市民の方に知ってもらうことが大事ですので、早い時期に皆さんに知っていただけるようにしていきたいと思います。

○市民

アンケートについて、無作為とあるが本当にそうであったか。うちの93歳になる母親にアンケートがきており、とてもアンケートをかけるような状態ではない。また、知り合いも同じことを言っていた。私は、代筆を行い提出したがどのように対象者を決めたのか。

アンケートの回答についてどう思っているのか。区民の声を聞くにあたっても期間が短い。検討委員会に結果を出すと言ったが、アンケートの結果が全てではないと思う。幅広く意見を聞いてほしい。

●総務課長

アンケートを行う前にあらかじめ回答いただけたような人を選んでいけば回答数も増えたかもしれません。今回のアンケートは年齢と地域を実際の割合になるように対象者数を抽出しています。場合によっては一世帯に2人あたったところもあります。今回は本当に無作為に起こったため、いろんなご指摘を受けました。当然、統計上のものとして扱い、このアンケート結果がすべてとは思っておりません。ただ、統計上1,000人の回答ともものは有効ということもあり、今回はこのような無作為というかたちで行いました。

●総務部長

このアンケートの取り方については、内部でもだいぶ協議しました。

例えば、世帯主の方に送ると回答者数はより増えると思いますが、回答される方の年齢が偏り、多くの場合男性であろうかと思われます。広い範囲から回答を得ようと考えたとき、今回の方法しか思いつきませんでした。そのやり方にあまり手を加えるとその結果の信頼をかえって失うことも考えられます。そのようなことから今回の方法としました。

今後のスケジュールについて、合併特例債の利用もありいろんな事務手続きを逆算して今年度の8月頃に決定したいと考えています。

○市民

資料 9 ページの面積についてだが、6000 ㎡とは延べ床面積か。敷地面積か。

資料 11 ページについては、現実的なのは③新築であると思うが用地の確保代を安くするのは条件のうちであると思う。公共的な土地を活用すべきであると思う。

●総務課長

資料 9 ページの面積の 6000 ㎡とは延べ床面積です。

既存施設を活用した場合、何らかの手を加えて建物を増やさなければなりません。

新築の場合には広い土地が必要になるが、まずは市で持っている土地、又は取得予定である土地で考える必要があります。新たに土地を購入することになると、何億かの費用がかかることが見込まれますので、慎重に検討しなければならないものです。

費用の概算には、土地代は含まれていません。

○市民

市へのお願いで、クリーンセンター建設についても、いきなり結果論を持つての説明会であったが、そうではなく一本化について進み具合や流れを市民に細かく説明して欲しい。

●総務部長

クリーンセンターの経緯等の話をこの場で私が申し上げることはできませんが、この庁舎の説明会は、結論が出てからではなくて、まずは市がどのようなことを考えているかを知っていただくために開催するものです。

クリーンセンターの件でご迷惑をおかけしたのでありましたら、申し訳なく思います。

○市民

このような説明会はせっかくの機会であるのに、次世代を担う若い人の参加がない。若い人に積極的に参加してもらいたい。どのように若い人を巻き込んでいくのか。市外に住んでいて地元に戻ってきたいと考えている若い人たちのアンケートなどは考えていないのかお聞きしたい。

●総務課長

行政の説明会等の若い人の出席者の少ないのは事実です。

このアンケートは 16 歳以上としました。他市等の例を見ると 20 歳以上を対象としていますが、今回のアンケートは高校生も含んでいるわけです。なかなか見てもらいにくいですが、今までの検討委員会の資料等はすべて市ホームページに掲載しています。

今後、市民ワークショップの開催も予定していますので、周知方法等については検討したいと思います。

○市民

資料 9 ページを見て思うが、県の施設の活用は考えておるか。

●総務部長

阿寺断層を震源とする直下型地震により、近い将来震度 6 程度の地震が予想されてお

り、下呂総合庁舎については、現在耐震工事をしているようですが、あくまで人様の建物です。勝手に入っていくことはできませんし、あの庁舎の中には、農林事務所や土木事務所、保健センターの支所等のいろんな機能があります。下呂市にとっては最寄りの県の機関と一緒に仕事できるという事は非常に連携が取りやすいと思われます。

総合庁舎については、まず県との話がありますし、今ある県の機能をどうするのかということもあり、相当慎重に進めなければならないと考えています。

仮に、総合庁舎を 100%活用したとしても、面積は 4,000 ㎡程度と聞いていますので、想定面積の 6,000 ㎡には不足するので、何らかの増改築がいると考えられます。

○市民

県への打診は行っているのか。

●総務部長

打診ということをするにしても相当な覚悟をもってやらないと話をもっていくことはできないと思います。

ただ、正式な話ではありませんが、県には「市が庁舎の一本化を考えているということ、ついてはあらゆる可能性を考えており、今後相談することもある」という程度の挨拶程度はしています。

○市民

総合庁舎の中身を市の保有施設に分散して移し、市が総合庁舎に入ればどうか。安くあげるかんこうをしてほしい。

●総務部長

県も厳しい財政の中で下呂総合庁舎の耐震工事を行ったわけですので、県も簡単に渡すということは難しいのではないかと思います。協議の話を持っていくにしても周到な準備をしておかなければいけません。

決して、総合庁舎の可能性を除外するというわけではありませんが、今言ったようなことが必要となります。

○市民

あわせて県の施設の水産試験場も含めて考えてほしい。一本化については、どのような事を検討してきたか。

●総務課長

昨年 4 月から市の職員で組織した「庁舎一本化検討委員会」で庁舎を一本化するにあたり、必要となるデータの収集をしてきました。その内容を報告書としてまとめ、本日の資料はその報告書の抜粋です。報告書は、庁舎を一本化する必要性や規模、市所有の土地等をまとめたものです。その内容を検討委員会へ報告しました。

昨年 11 月に立ち上げた検討委員会では、庁舎一本化の必要性から協議を始め、庁舎の規模等を検討しながら、いよいよ具体的な庁舎の場所の検討に入っていければと思っています。

○市民

資料 13 ページについて、検討委員会の 17 名の選任については、どう行ったのか。

また、地区ごとの内訳については、どのようになっているか。

●総務課長

委員の構成は、各地域の自治会連合会会長さん、福祉、商工、観光、農業、PTA、子育て、高齢者、防災の関係団体の代表者の方に地域のバランスを考えながら委員をお願いしました。それに広報等でお知らせした公募の委員2名、それ以外にまちづくりの関係で1名の方に委員になってもらっています。

委員の人数の制限がありますので、人口のバランスのとおりとすることは難しいですが、参考までに、小坂2名、萩原4名、馬瀬2名、下呂5名、金山3名の16人と総合アドバイザー1名となっています。

委員の氏名については、広報やホームページで掲載しています。

○市民

重要な問題なので、区に情報をおろして思いを吸い上げていく必要があると思うが。

●総務課長

多くの意見を伺うことは大事だと思いますので、自分が所属する団体の代表者に投げかけをしていただいて情報を集約するということあるかと思います。

ただ、そのため代表者の方の負担が重くなり、すべてを背負ってしまうことにもなるので、あくまで検討委員会では、今後の下呂市を考えてご意見をいただきたいと冒頭でお願いをさせていただいております。

○市民

市は、財源の確保のために保有している資産を売却するなどの方法を考えているか。

●総務部長

資産の売却は考えています。

ただし、すべての土地等を売ってしまうと、今後の市の計画に支障が出る事がありますので、例えば、萩原地域の松ヶ瀬の住宅の跡地や金山地域の住宅の跡地等を宅地造成して売り渡しの手続きをしています。

ただ、なかなか公募しても買い手がいないというのが現実です。

○市民

振興事務所についてお聞きしますが、本庁ができた地区については、振興事務所はかないという事ですが、機能としてはどうするのか。

●総務課長

一本化して本庁ができた地域については、本課があるので総合窓口は置きませんが、地域づくりの拠点は置きます。

庁舎以外の地域については、今と同じかたちの振興事務所ではなく、総合窓口と地域づくりの拠点を置きます。

○市民

本日の資料に下呂の地域のアンケート結果がないのでわからないが、自家用車で市役所に向かう人が多いという結果にもありますが、正直、どこに庁舎がたっても車に乗っ

てしまえば同じであると思う。場所ではなくて、建物やサービスが今後の高齢化も考えて高齢者にとって優しいものであってほしい。

他の地域のアンケート結果や、自家用車の利用をされている方の中の、年齢分布と下呂地域の結果を知りたい。

●総務課長

本日は萩原地域の説明会という事で、萩原庁舎と星雲会館についてのアンケート結果を載せています。

質問の下呂地域にある下呂庁舎のアンケート結果についてですが、「あなたはどのような用事で下呂庁舎を利用するか」という問いについて、一番多いのが戸籍関係となっています。次いで税金関係、福祉、健康となっています。

「下呂庁舎の施設面についてどう思うか」という問いについては、駐車場が足りないと思うという意見が半数を占めています。あとはどこに目的の課があるのか分かりにくいという意見や建物が古くて不安という意見がありました。

下呂庁舎までの交通手段については、萩原庁舎と同じく自家用車という回答が圧倒的に多くありました。

他の地域の資料が欲しいということであれば、お出しすることもできますので、よろしく願いいたします。

○市民

今後の一本化の段階的な流れについて教えてほしい。

●総務課長

庁舎の規模や機能、場所について今年の夏頃までに方向性を検討委員会を出していただきたいと思っています。その内容をもとに市でどうするのか決定し、議会へ提案したいと考えています。最終的には、議会で3分の2の同意を得ると議決となります。

そのあと、具体的に基本設計や実施設計を行っていきます。その際には、改めて市民の皆さんの声というものをワークショップ等で反映していけるようにしていきたいと思います。

工期から逆算をすると、今年8月ぐらいには場所を決めないと平成30年度内に事業が終わらないと考えられます。

○市民

検討委員会ではなく市としての意見はないのか。

●総務部長

はじめに結論ありきではなく、手順を踏んで進めていきたいと考えています。

○市民

一本化のメリットは、どこにあるのか明白にしてほしい。経費としていくらになるのか。一本化をしないとすると、建物の耐震化などが必要と思うが、その耐震補強の経費はいくらになるのか。今後は、この先、負担を背負う若い人たちにわかっていただけるように進

めていくべき。

振興事務所の機能についてですが、残る機能としてはなにか。どのような事ができなくなるのか。わかりやすく説明してほしい。

●総務課長

すべての施設について維持経費を把握しているわけではなく、また、耐震化した場合の費用もまだつかんでいません。そのため、20年、30年後を見て庁舎の一本化をした方が経費が安くなる等の計算もできていません。本来であればそのようなこともすべきであると考えます。

ただ、今ある 368 ある施設について今後どうしていくかを検討していくか、同時に庁舎の一本化についても並行して検討しているわけですが、どちらも市の考えだけで進めていくものとは思っておりません。市民の皆さんの意見を聞きながら、残す、残さない施設を決めていく必要があります。その結果で経費というものは変わってくると考えられます。

今後は、368 の施設すべてを市で管理運営していくことは不可能ですので、民間活用を考えたり、取り壊しを考えたりし、その中にランニングコストという観点を持って検討を進めるものです。

振興事務所の取り壊し等はどうかまだ決まっていますが、通常の市民の方が利用される業務については、今のまま利用いただけますが、すべて今までのとおりということもあります。重要な課題相談については、相談したうえで判断するということになりますので、本課での対応が考えられます。また、契約関係についても本課での対応と考えられます。

一般の市民の方が利用する内容については、今の振興事務所と同じようにそのまま利用できるように、また、そのようなことができない場合でも、少し時間がかかりますが、本課の職員が振興事務所に行って対応することもできるかと思います。

以 上

庁舎の一本化に関する市民説明会（小坂地域）の議事録

出席者 総務部長・総務課長・総務課今村・総務課土屋
総合政策課長 計 5人
市民 29人

会場 きこりセンター

日時 平成 26 年 3 月 25 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 50 分

市が考える庁舎の一本化について資料（別紙）に基づき説明し、質疑を受けた。

○市民

萩原の説明会にも出席したが、その中の意見で萩原にしてほしいとか出たが、そうなってしまうと感情論の話になってしまい最悪な話になってくる。自分が考えるにおのずと候補地というものはあまりないと思う。災害のことを考えると国道から近い方が良い。災害のこと、利便性のこと、経済性の事を考えると、3カ所も4箇所も出てくることもないと思う。やっぱり距離の点から小坂や金山は難しいと思うし、国道から近く地形も開けてフラットなところで、しかも用地費の点から公共用地ということが必要である。良識的な判断をお願いしたい。

今後の経済情勢から身の丈に合った必要最小限のものを願っている。

●総務課長

貴重なご意見とさせていただきます。

○市民

想定延べ床面積 6,000 m²の根拠と職員数を 250 人にすることは本当に可能か教えてほしい。

●総務課長

延べ床面積の根拠は、総務省の起債の基準、国土交通省の基準、近年の庁舎建設事例の面積、現在の施設面積を積み上げた数字の4つの平均をとったものです。

○市民

職員一人あたりの面積は。

●総務課長

6,000 m²を職員 250 人で割ると、24 m²となります。

○市民

駐車場を 150 台と想定しているが、職員の分は含んでいないということなので、職員 250 人だと 250 台必要となり、敷地面積 6,000 m²という計画では少ないと思う。災害時

には多くの消防車や救急車等が乗り入れる広い駐車場が必要。駐車場 150 台では少ない。

これらのことを含めて場所を考えると、萩原の総合庁舎を庁舎にすることが考えられるが、問題は 4 つの視点から考える必要がある。本日の説明会資料の中に、市民との協働というまちづくりが進んでいないと書いてあるが、具体的にどういうこと言っているのか。

●総務課長

その前に、先ほどの駐車場台数のことですが、150 台の駐車場の中には職員は入っていませんので、当然必要になってきます。職員の駐車場は近くにできないかもしれませんが、多少遠くても歩いてくることができますので、敷地面積には含めていません。

○市民

そうすると、民間の土地の借上料等が必要となってくる。

まちづくりについて教えてほしい。

●総合政策課長

まちづくりについては、下呂市が合併した平成 16 年 3 月時点で総合計画であったり、新市まちづくり計画の中で「住民の参画と協働」というものを基本理念としています。当時から合併して年数が経っていけば今のままの公共サービス、行政サービスを維持していくことはできないということが見込まれていました。そのため、10 年前から市民の皆さんに助けてもらいながらやっていくという仕組みを作っていかなければならないと考えていたものです。

現在は全く進んでいないというのではなく、思うようには進んでいないという状況です。今までは小坂から金山まで旧町村のとおりいろんなサービス等行っていましたが、それらをできるだけ平準化、均一にして同じ条件にそろえてきました。そのような取り組みでそろってきたところはあるのですが、何十年と続いていた地域の伝統を一本化することはできないということもわかってきました。

そのようなことから、平成 22 年度から市長が方向を切り替えまして、地域の特性を伸ばしていくということで、当初の目的である参画と協働を図り行政を助けてもらいながら、市政を進めていこうということで現在取り組んでいます。

今説明したように、住民の参画と協働ということが進んではいるものの、まだまだ足りないということを資料で表現しています。

○市民

私は庁舎を作ることは大賛成である。ただ、街づくりの拠点とはどうことかという、この地域は企業誘致して工業団地を作ろう、あの地域は住宅地としよう、都市計画的な視点で考えると、萩原地域である。萩原地域な街づくりの中心となっていくと思う。

庁舎の位置を考えるには、まずは都市計画を示さないといけない。当然そのあとに利便性を考えるという事になる。

●総務部長

都市計画の中で考えていくというご提言であると思いますので、検討委員会に報告させていただきたいと思います。

○市民

この庁舎の一本化については決定事項か。この資料を見ると決定事項のように思える。この資料では庁舎一本化のメリットデメリットが分からない。庁舎を一本化することのできる、経済性の面が大きいかもしれないが。

昨年 12 月の広報げろに会計状況が乗っていたが、市民一人当たりの借金はいくらぐらいになるのか。公債費が多くなっていることがわかる。ここで借金をして庁舎を整備するということに矛盾を感じている。

本当に庁舎を一本化する必要があるのか、デメリットをメリットに変える方策は考えたのか。この資料はまだ実験段階の資料であれば別だが。

●総務部長

庁舎の一本化はまだ決まっていますが、庁舎の一本化を先送りしないほうが良いと考えています。最終的に決まるということは、議会において議決したら最終決定となります。

市民一人当たりの借金は約 140 万円となります。

一人当たり 140 万円の借金があるわけですが、その状況でさらに借金をしてまで庁舎を一本化する必要があるのかということですが、庁舎については、国や県等から補助金等はほとんどありません。防災関連の部分には多少の補助があったとしても、庁舎本体にはそのような補助制度というものはほとんどありません。そのようなことから、庁舎を整備しようとした場合、市民の皆さんの税金や借金するしかその財源を確保することができないものです。庁舎というものは今住んでいる皆さんにとって必要なものであり、これから住んでいく若い皆さんたちにとっても必要なものです。

そうした時、まるまる借金をするか、例えば合併特例債のようなキャッシュバックがあるような制度を利用したほうが良いのではないかと、そうすれば、将来の負担も少なくすることができ、そのため今から取り組むことが最善の方法だと考えています。

○市民

今の話で、新庁舎は決定事項ではないが先送りもしないということに怒りを覚え大反対である。まずは、下呂総合庁舎を利用しないのか。足りない部分を星雲会館等を耐震化して利用すれば良いと思う。金山振興事務所は耐震化してあるので、もし大きい地震が起きても庁舎が分散していることも有利だと思う。

振興事務所の今後のあり方が良く分からない。振興事務所は地域づくりの拠点となることだが、地域力の強化という方向に向けたが小坂振興事務所は耐震性が無い。耐震性が無い建物に加えさらに職員数を削減するので、言っていることがおかしいと思う。耐震性の無い建物で地域のことは地域でお願いしたいということとはわからない。

23 億の建物を作るとあるが、その維持管理費用はまだ計算していないことであるが、自分の家庭であれば、23 億あればまず特別養護老人ホームを作って、まだ余裕があれば新庁舎を作るというふうに考えることが普通と思うが。

下呂交流会館は維持管理費が 2 億円ぐらいかかり、ここで新庁舎を作ってまた維持管理費をかける。今の施設を使えば維持管理費は安く済むのに、なぜ一本化するのか。

●総務部長

下呂総合庁舎の活用については、否定はしていません。検討材料の一つと考えていますが、持ち主は岐阜県であり慎重に話を進めていかなければと考えていますが、最初から総合庁舎の活用は否定していません。

今は検討委員会の中で、どのような方法が考えられるかを協議いただいているところです。

●総務課長

今までお話ししてきた庁舎一本化の必要性については、あくまで市の考えであり、その考えを市民の皆さんに説明している状況です。

いろんな場所で市はお金が無いと言っており、スリムな行政になっていかなければいけません。職員数もさらに削減してコンパクトになっていかなければなりません。管理職の人数も減らしていくため、組織の見直しというものも行っています。現在は分庁方式でばらばらと仕事をしていますので、1ヶ所に集めて効率のいい職員の活用をしていかなければならないと考えています。

優先順位ということで高齢者福祉施設の話が出ましたが、現在、市で建てるということとは考えていません。民間の方たちに建ていただいて介護保険でどう運営していくということになります。広域で建てたサニーランドについても、社会福祉法人のほうでやっていただいています。

その他に必要なものとして、学校の耐震化はすべて終了しましたし、念願であったクリーンセンターについても方向も定まってきました。そして今回の庁舎ということになりました。

●総合政策課長

振興事務所の耐震性については何とかしたいと考えています。ただし、現在の建物は古く老朽化しています。耐震化することはできなくはないかもしれませんが、はたして今の建物のような規模が必要かということも考えていかなければならないと思います。今回の庁舎の一本化の中でその点も含めて検討していきたいと考えています。

今の施設を利用するだけでなく、民間の建物も含めて別の建物を利用することも考えています。いろいろな角度から振興事務所の機能を検討していきたいと考えています。

地域力の強化と職員数ですが、職員数が多ければいいというものではありません。国や県から適正規模に応じた職員数の配置という考えも聞いております。職員数が多くなれば当然人件費も多くなり、今までどおりの交付税が維持されればいいのですが、今後減ることが見込まれるため、何とか経費を減らしていきたいと考えています。

このような考えをしたとき、今までの振興事務所のかたちを維持するということではできないと思われます。ただ、市民生活に直結したセーフティーネット、戸籍や税等の住民窓口は残していかなければならないと考えています。振興事務所で行う必要が無いと思われる工事等について本庁で行い、必要に応じて職員が出向く等して対応していきたいと考えています。

地域力の強化については、振興事務所で工事等をやっていた職員を地域づくりの方に

持って行って、その職員が持っていた工事の仕事を本課に持って行って、地域づくりを手伝っていくというものです。

○市民

地域力の強化とは、その地域に住むからであって、小坂の者が小坂に住んでこそ強化されると思う。集約するということは地域力は落ちると思う。

一本化するということが一見効率的に見えるが、今はネット社会なのでネットで何でもできる。分散していた方が地域力は強化されるので、今までの話は詭弁である。

結局のところ、本庁を一本化して耐震性の無い小坂振興事務所はどこかの民間の施設に間借りするという事ではないか。

●総合政策課長

振興事務所の機能を維持していくということです。間借りすることもあるかもしれませんが、今の施設に執着していくということでもありません。

○市民

小坂については、どう考えても人数は削減するし、地域力の強化と書いてあるけど、本課に集めていく路線であるということではないか。

●総務部長

地域力の強化のために振興事務所は残しますが、今のままの規模を維持していくことが必要を検討していかなければいけません。ランニングコストを比較した場合、今の状態から少しシンプルにした場合の方が少なく、市民の皆さんの負担も少なくてすむわけです。

ただ、やみくもに一ヶ所に集めるわけではありません。

○市民

新庁舎のランニングコストはどうなるのか。

●総務課長

設備をどのようにするかが決まっていますのでまだわかりませんが、例えば太陽光発電ということも考えられますが、新しい設備を導入すればより電気を必要とすることもあると考えられるので、一概に施設を新しくしたからといってランニングコストがかからなくなるとも言えません。具体的な建物や設備が決まっていますので、また、増改築ということもありますので、具体的なランニングコストというものは把握できません。

○市民

新庁舎に必要な敷地面積 6,000 m²とあるが、現在の下呂庁舎や萩原庁舎の場所でそれだけの面積はあるのか。

●総務課長

現状のままでは下呂庁舎・萩原庁舎とも 6,000m はありません。

○市民

となると、今ある既存施設を増改築するという考えは検討する必要があるのではないのか。新築ということしか考えられないということになるのではないのか。新築又は総合庁舎の利用しかないということではないのか。

職員数について、新庁舎ができたからといって250人まで削減することは可能なのか。新庁舎ができたからといって60人も一気に削減できるとは思えない。なるべく将来に負債を残さないようやってもらいたい。

●総務課長

今のままでは下呂庁舎・萩原庁舎とも6,000㎡はありませんので、想定する駐車場台数を削減するのか、近隣の土地を取得するということが選択として出てくるのではないかと思います。

現在、場所については検討委員会の中でもまだ検討していません。今は規模を検討しているところです。

○市民

現状、庁舎周辺の土地を取得しようとすることは不可能ではないかと思う。

●総務課長

当然経費を抑えなければならないので、土地を購入するということは多額の経費がかかります。まずは今ある土地で考えることが必要です。土地の密集する住宅街での建設というのは難しいかもしれません。

●総務部長

今日示したものは、今現在考えられる可能性をまとめたものです。今後実現性が高いものを絞っていく必要があります。

職員数については、現在20の部と60近い課があり、今は分散していますので、20の部、60近くの課が必要となるわけですが、一本化したとき、はたしてこれだけの部や課がいるのかということから考えています。庁舎の面積を算定するには、職員一人当たりどれぐらいの面積が必要となるかを考えなければいけませんので、そういったことから、最初から過大なものを作りたくないという考えから厳しい条件を設定してスタートしたいと考えました。今後庁舎の話が進み具体的に面積やレイアウトとなった段階では数字は精査され変動するかもしれませんが、できるだけ後世につけを残さないためには、これぐらいしななければならないと考えています。

○市民

今日の話を聞くとこの資料はまだ未熟なものであると受け取れるので、メリットデメリットが必要と思う。

もっと大事なものとして、発想の転換が必要。例えば駐車場について、職員の駐車場を考えるなら、車に乗ってではなく、公共交通機関を使うとか。防災対策について情報や対応の一括管理よりも振興事務所で行えば迅速に動けると思うので、一ヶ所にまとめなくても良いと思う。

また、既存の施設を直すことによって違った使い方ということも出てくるのではないかと。改修することで安くすむ。

窓口の職員は丁寧に行っているのですが、教育で場所が分かりにくいことも解消できるのではないかと。

今までの意見をもとに、もっともっと選択肢を増やしてほしいと思う。

●総務課長

検討委員会の中で検討していきますので、その中に市民の皆さんの意見も取り入れながら、総合的に判断できるように資料をそろえていきたいと思います。

また、ホームページや広報げろにも情報を載せていますので、見る機会がありましたら一度ご覧いただければと思います。

○市民

庁舎の一本化もあるが、合併してようやく 10 年経って 10 年前より少し良くなってきたところもある。下呂館について言えば、下呂地域で集会をやっても反対する者はだれかという意見があり、他の地域でも賛成した者はだれかという意見になる。市有地検討委員会でも病院跡地に庁舎を持ってこれば人も来るという意見があるが、それでは他の地域から文句が出る。

庁舎の一本化よりもまず市民の気持ちの一本化が先である。

小坂も役場だったのが振興事務所になっただけでさびれた気がする。小坂振興事務所はコンピュータを入れるために鉄筋を切ったと聞いたが、まず振興事務所をしっかりとってから庁舎について取り組んでもらいたい。

地震についてはどの規模を考えているのか。下呂市の地形にあった庁舎を考えてほしい。

●総務部長

提言ということで受け止めさせていただきたいと思います。

地震については、今回の東日本大震災の教訓は、庁舎が無くなった復興に時間がかかるということです。震度想定は震度 5 強以上を想定することが妥当ではないかと思います。

○市民

庁舎を作りには 4 つの視点をとらえていただきたいと思う。市の持っている土地について 4 つの視点で見てほしいと思う。そのような土地が無い場合、病院跡地のようなものもそのような視点で見てほしい。

まずは街づくりの視点、発展性が望めるということ。次に防災の視点、災害時に災害対策本部になれば、県や警察と連携がとれること、3 つ目に利便性、人口の中心となる都市計画の中心となり、幹線道路がある場所。4 つ目は実現性と経済性の視点から見て、広い土地が確保できるかということ。この 4 つの視点で計画を立てていただければと思う。

以 上

庁舎の一本化に関する市民説明会（下呂地域）の議事録

出席者 総務部長・総務課長・総務課杉山・総務課船坂・総務課土屋
経営管理部長・総合政策課長 計 7人
市民 42人

会場 下呂市民会館2階大会議室

日時 平成26年3月6日（木） 午後7時～午後8時10分

市が考える庁舎の一本化について資料（別紙）に基づき説明し、質疑を受けた。

○市民

10年前の合併協議会の委員時代から、庁舎について色々と検討課題があった。庁舎の位置、市の名称、議場等々。その時は庁舎は今すぐ決定しなくてもよいという意見があり、分庁方式でとりあえず行うということであった。下呂中学校を庁舎にし、高山線の改修（踏切）、下呂中学校と竹原中学校を統合して竹原には東京ドームより広い土地があるので日本一の中学校にしたいという思いがあった。完成が平成30年度を過ぎるとどうなるのか。

●総務課長

合併特例債は平成30年度までに完成した場合に利用でき、5年以内に終わらせる必要があります。

○市民

地方自治法では庁舎の位置を決めるにあたって、住民の利用のもっとも便利であるように、交通の事情や他の官公庁との関係等を考慮して、議会の3分の2以上の同意を得る必要がある。

国道41号の金山と小坂の間は下呂の上小川の焼肉の車門のあたりで国道を管理する国道事務所は下呂地域の森にある。JR高山線の金山駅と下呂駅、小坂駅と下呂駅はほぼ同じ距離にあり中心と言える。また、少ケ野には濃飛バスのセンターがある。

人口重心点は、下呂観光ホテルからマロニエのあたりらしいが、定住人口と交流人口を考慮しなければならない。

住民異動件数、水道使用量、固定資産税、観光宿泊者数、救急車出動回数（別紙資料のとおり）は下呂地域が一番多く、昔から「観光は下呂、行政は萩原」と言われるが、行政需要があるのは下呂地域である。清掃センター、し尿処理場、火葬場も需要の多い下呂地域の大淵・三原地区の住民の協力で建設されてきた。

防災の面からみても、年間100万人余りの宿泊客を迎える下呂では、平常時及び非常時とも観光客に近い場所で動向を把握することが重要である。地震調査研究推進本部ホ

ームページでは、特に阿寺断層による地震の発生率が非常に高いとされ、下呂地域は南部断層地帯で確率は低い、北部断層地帯は非常に高い。全国で5番目ぐらいであったと思う。

市有地有効活用研究会で旧下呂館やあさざり荘跡地、下呂温泉病院跡地があるが、病院跡地はそのうちの3分の2を占め、新庁舎用地の 6,000 m²を満たしている。市は病院跡地購入のため毎年1億円積み立てをしており、公共施設の見直しを進めている中で、庁舎建設のために新たな用地を購入することはさらなる財政負担を生じ、行財政改革に逆行し、病院跡地問題が残ってしまう。

庁舎建設には合併特例債を活用すべきで、そのほかにも合併体制整備補助金及び旧まちづくり交付金等の対象となるような庁舎整備を図ることで市の財政負担を軽減できるのではないかと。市役所かその周辺に住民や観光客を集める機能、活性化を図ることの検討を。市民が誇りをもって共通のシンボルとなる庁舎を願う。

先日、下呂地域自治会連合会で視察した兵庫県豊岡市では、庁舎の位置決定にあたり、「適正規模」、「市民の利便性」、「事業の実現可能性」、「事業の確実性」の4点から候補地を絞り込み、さらに「まちづくりとの整合性」、「市民の利便性」、「事業の実現可能性」、「防災拠点・安全性」の視点で位置を決定したとのことであった。

竹原出張所は嘱託職員1名、上原・中原地区は出張所が廃止となり、これからは窓口業務だけのごくわずかな人数しか残らないと思わなければならない。

「全部下呂」とか「官公庁は萩原」とか「下呂以外損している」と言われるが、私も損をしていることを挙げれば多くの点で反論したい。

先日、NHKで全国で合併効果が出ていないのは各地域に分散しすぎたためと報じていた。幸田に住んでいるからのエゴではない。現状を正確に知り、将来を見据え客観的、大局的な見地に立って賢明な判断をお願いしたい。

○市民

財政は大丈夫かと思うが、一本化には賛成である。庁舎の位置は下呂地域であってほしい。下呂温泉病院跡地や旧よし乃はどうか。

現在の下呂郵便局は利用者からも不便との声がある。郵便局を旧よし乃へ移転してもらえばいいのでは。今の下呂庁舎の場所で、足りない面積を郵便局とその前の公園を利用して不足分を補えばよいと思う。

○市民

庁舎を移転することは可能か。また。移転するにあたり多目的機能を取り入れる考えは。若い人たちの発展性のある事業であってほしい。

●総務課長

移転することは可能です。移転には議会の議決が必要になります。

多目的機能については、現在考えていません。本日の資料にもそこまでの機能は含んでいません。

○市民

グランドゴルフ大会等の事務をやった経験があるが、事務所や位置がいくつもあるのではなく、一つの事務所で完結できることが大切である。市の事務所も一本であってほしい。旧町村を大事にして、振興事務所の一部を各種団体の事務所に利用してはどうか。

○市民

このような説明会では、どうしても声の大きい人の意見が通ってしまいがちだが、意見の集計方法が大切である。意見を集約するときは声の大きい人の意見に耳を傾けず、中立に集約してほしい。

下呂が中心となるのは客観的にはっきりしている。

○市民

萩原の機能を一本化できるのか。萩原では、庁舎と星雲会館と機能が分かれているが、一本化した場合どうなるのか。集約されるのか、現状のままとなるのか。

下呂地域の本当の中心ということであれば、この下呂市民会館あたりだと思う。営林署は小坂一本となって、下呂市森の跡地は市が買い取る構想もあった。営林署から下呂市民会館の一带に庁舎を建ててはどうか。

●総務部長

もし庁舎を下呂にということであれば、萩原にある庁舎の機能を下呂へ持ってくることになります。また、下呂以外となれば、下呂の機能を持っていくことになります。

以 上

庁舎の一本化に関する市民説明会（金山地域）の議事録

出席者 総務部長・総務課長・総務課杉山・総務課土屋
総合政策課長 計 5人
市民 20人

会場 下原公民館ホール

日時 平成 26 年 3 月 11 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 20 分

市が考える庁舎の一本化について資料（別紙）に基づき説明し、質疑を受けた。

○市民

平成 26 年度から実質赤字となり、また平成 30 年度には財政調整基金が底をつく。そのような中で、行政改革推進委員会の会議において合併特例債を使って庁舎を建設するという話はなかった。

庁舎整備に合併特例債を利用することは決定事項なのか。

●総務課長

決定ではありません。しかし市として庁舎の一本化は必要であると考えています。検討委員会で検討し、最終的には市で判断します。

○市民

市債残高が 260 億円ある中で、実質負担として 8 億円を捻出するためには、その分を削る必要がある。

庁舎を一本化した場合に現在の職員数 310 人から 250 人と減る根拠は。

●総務課長

職員数は定員適正計画により計画的な管理をしています。庁舎一本化して 5 年後には職員数が 250 人に落ち着く見込みであると考えています。

●総務部長

スリムでコンパクトな組織体制を目指して職員を減らしていきます。

○市民

庁舎一本化した場合のライフバランスはどうなるのか。

●総務部長

庁舎の建設経費は、財政シミュレーションで見込んでいますが、建設経費は状況によって変わります。現在のシミュレーションでは、実質収支が赤字となる見込みです。

○市民

「市民との協働による新しいまちづくり」が思うように進んでいないというこれまで

の評価の中で、庁舎一本化を含めた改革が具体的にどうつながっていくのか分からない。

●総合政策課長

「市民の参画と協働」は総合計画のまちづくりの理念です。今後、職員が減り、交付税の合併特例がなくなる事が想定された中で、これまでのとおり全て行政が担うことはできません。合併 10 年が経ち、市民に担っていただくこと、手伝っていただくことが中々できなかったと感じています。このよう中で、庁舎一本化と組織の見直しを行い、色々な事務を市民に担っていただくことを進めていきたと思います。

○市民

現状の問題点を「市民サービスが一か所でできない」「職員の仕事上の移動にタイムロスがある」とまとめられているが、市民サービスについてどれだけの苦情があるのか、タイムロスがどれだけあるのか調査されているのか。

●総務課長

例えば、市長印の押印は平均 1 日 6 ～ 7 件、他の庁舎から来ています。これには、車・ガソリンを使っています。議会の関係では、議会对応のため他の庁舎の職員が下呂庁舎で待機することがあり、時間の拘束がされることがあります。防災面では、本課が分かれていることで、それぞれ対応するが、連携がなかなかとれない面があります。

●総務部長

電算化やテレビ会議システムを活用して対応しているが、顔を突き合わせた対応がいいことは確かです。

○市民

庁舎が離れていることで効率的な行政運営ができないとあるが、IT 技術で解消できる。

●総務部長

IT 技術はもちろん必要であります、IT だけでは対応できないものもあるということです。

○市民

庁舎の話に反対があるわけではないが、事務が原始的である。もっと効率的な事務が必要である。

新しい庁舎が崩壊した時の対策は。

●総務部長

B C P 対応のことではありますが、庁舎の代わりとしての建物を新たに持つことは難しいです。

○市民

データのバックアップ対応も考えなければならない。

●総務部長

クラウドシステム、サーバの二重化、データバックアップを遠隔地に進めています。

○市民

市民との協働が思うように進んでいないことは感じている。先日実施した清流マラソンは、昔のような地域の住民を巻き込んだ取組みとなっていない。

市として、どんな取組みを行ってきたか。なぜ進んでこなかったと考えるか。

●総合政策課長

これまでの右肩あがりの中で、行政が公共サービスを担うことが当たり前となり、本来家庭の中で解決できていたものまで行政がやるようになってしまいました。もう一度元に戻そうとするものであるとの考えで進めていきます。

これまでは合併により全て一本化、平準化することを目的として進めてきましたが、色々な地域があり、これからはそれぞれの地域特性を活かしたまちづくりを地域と相談しながら進めていきたいと思います。

○市民

振興事務所機能を見直すとあるが、振興事務所は具体的にどのように変わるのか。

●総合政策課長

地域づくりの拠点としていくものです。

市のルーチンワーク業務を残しながら、まちづくり機能をプラスしていきます。

○市民

マイナス面はないのか。

●総合政策課長

全ての事務機能を残すことは難しいですが、市民サービスに係る部分は残したいです。

●総務部長

職員数が減り、業務を本課に集中することから、今のままの金山振興事務所の職員を残し続けるのは難しいです。

以 上

庁舎の一本化に関する市民説明会（馬瀬地域）の議事録

出席者 総務部長・総務課長・総務課船坂・総務課土屋
総合政策課長 計 5人
市民 23人

会場 馬瀬中央公民館2階大会議室 小会議室

日時 平成26年3月18日（火） 午後7時～午後8時20分

市が考える庁舎の一本化について資料（別紙）に基づき説明し、質疑を受けた。

○市民

耐震性の見込めない老朽化した建物は見直しということであるが、今の馬瀬振興事務所の建物はなくすということですか。

●総合政策課長

耐震性のない建物は、補強ができるかどうか検討を行いますが、費用面を考えると場合によっては振興事務所の近くである程度の機能を備えた建物、企業の所有物件なども視野に入れて考えてまいります。馬瀬振興事務所の建物は耐震性がないから、すぐに潰すというものではありません。

○市民

新庁舎の総面積を6000㎡と想定しているが、具体的に6,000㎡とは下呂市の施設で例えればどこになりますか。

●総務課長

萩原にある下呂総合庁舎の建物面積は4000㎡程ですが、下呂総合庁舎の駐車場も含めた敷地よりは、新庁舎の方が小さいものとなるかと思います。

○市民

資料8ページでは、本庁舎の職員が310人から250人に減っていますが、現在の振興事務所の機能の一部の機能を本課に集約するということは、振興事務所の職員を含めれば、職員はもっと減るということでしょうか。

●総務課長

提示している250人は、本課の職員で、平成35年を想定した人数となります。将来的に現在の310人から約10年後には250名に職員を減らしていくもので計画しています。

●総務部長

振興事務所の人員削減については、具体的に把握しているものではありません。現在

は、本課の機能を一本にするとした場合に考えている人数削減の数字です。ただし、振興事務所においては、セーフティネットや地域振興の部分は残す方向で考えております。

○市民

市民アンケートは、2,000 人の対象者から 1,000 人が回答しており、馬瀬はそのうち 4 %、すなわち約 40 人の回答という結果ですが、地域の案分は、地域の住民の数で割って出したものですか。

1,000 人の回答結果をもって「住民の意見はこうでした」と自信を持って言えるものでしょうか。

●総務課長

おっしゃるとおりで、対象者については各地域の人口割合で差をつけたものです。年齢層についても、16 歳から高齢者の方まで、人口の多い世代になれば対象者数も多いものです。下呂市中全て無作為に抽出したらというお話も検討委員会の中でありましたが、バランスを考えて案分いたしました。

○市民

アンケート結果の問 6 の部分で、「多く利用された市役所は」という質問で、下呂と萩原で 60%、馬瀬は 2 %という結果ですが、これで当然馬瀬は要らないと判断されるものではないかと心配です。また、今回配布された資料は、どの説明会場でも同じ内容で配布されたものでしょうか。

●総務課長

説明会の毎に若干修正を行ったところがありますが、根本的な部分は同じ内容で配布させていただいております。

○市民

下呂庁舎には用事でよく行くが、階段は急で身障者に考慮されていない建物で、よく職員が今の建物に集まっているなという感を受けます。自分も市町村合併時に関わった経験があり、今の庁舎の制度をなんらかの検討をしていかないことは分かりますが、処理場を作り、病院も作り、最後には庁舎を作ってでは、その結果が市民へ大きな負担となって来ることとなります。将来の市民に大きな負担をかけることのない方法も考えなければならないのではないのでしょうか。

なお庁舎を建設するとした場合は、防災、安全面について十分考慮してもらいたいし、市民に負担のかからない方向で、最初から一本化で新庁舎ありきではなく、市民からの意見を十二分に入れながら検討してもらいたいです。

●総務部長

庁舎の一本化にあたっては、今ここで考えられる想定を挙げております。庁舎建設というのは、一般的な公共事業とは異なり国の補助金があるものではなく、かといって借金をするのを避けたい。下呂市の将来の負担を少なくするためにはこの方法が考えら

れるだろうという中で作られたものです。拙速な感があられるのかもしれませんが、それを逃すと次に耐震のために作ろうと思うと余計に将来の負担がかかるかもしれません。議決をいただければ建設となりますが、贅沢はしない、実質的なもの、高齢者への配慮を考えながら下呂市にとって無駄遣いとならない方法を考えて参りたいと思っています。

○市民

アンケート結果で半数の人が庁舎の一本化を検討していることを知らなかったとなっていますが、このままで良かったのでしょうか。各振興事務所との連携が取れなかったら新しくなっても良くないのではないかと思います。お金がない、人が減る、振興事務所の機能が縮小されるという理由で考えるのではなく、希望のあるものであってほしいです。

●総務部長

パソコン閲覧の環境のある方になりますが、検討委員会の4回行われた会議の中の第3回までの会議録が下呂市ホームページからご覧いただけますが今後も市民への周知を図ってまいります。

○市民

アンケートについてですが、市民の人口割でお願いするというのは、その人達全てが市役所の利便性等を知っているわけではないと思います。一番利用される職員から聞いてはいかがでしょうか。

●総務部長

職員からのアンケートについては、実は初めに取っておりまして、内部資料として活用しています。ここではお示しさせておりませんが、職員からの意見も反映し説明をさせていただいております。なお、周知については、広報げろや折り込みチラシ等を活用しながら、きめ細かく発信をしていきたいと考えております。

○市民

平成30年では、下呂市の人口はとなり、職員数はどうなるのか把握されていますか。

●総合政策課長

市職員については、645人から601人へ削減されるものと見込んでおります。

○市民

庁舎の6,000㎡という大きさは、将来の下呂市の人口で測っては違うのではないでしょうか。

●総務課長

将来の人口を基準に庁舎の面積を算出する方法もあると思いますが、ここでは国の基準等を参考にしながら職員ひとりあたりでどれくらいの面積が必要なのか、スペースを計算し算出したものであります。

○市民

これまで庁舎の一本化についてどうやって進められていかれたのか、今後どうなっていくのかお聞きしたい。

●総務課長

5回の説明会を経て、皆様からお聞きしたご意見などを吸い上げ、ありとあらゆるデータを出し、目先の事ではなく、将来の下呂市にとってどうしたらいいのか検討委員会で徹底的に揉んでいただきたいと考えております。

検討委員会からの調査及び検討結果を市長に報告し、最終的には市長となりますが、庁舎建設の議案と、議会の3分の2以上の議決が必要となります。

○市民

資料 P11 の庁舎整備の①と②の違いは何ですか。

●総務部長

②の①との違いについては、増築部分を基礎から築き上げるもので、別棟をなんらかの通路で結ぶとしたものです。現在施設で 3,000 m²ある施設を想定して提示したのではなく、方法の中で「こういう方法があります」といった意味であり、現存する「あの建物をこうする」という設定で計算したものではないことをご承知いただければと考えております。

以 上

問5		
No.	自由記入	会場
1	早急に庁舎の設置場所を決めるべきだ。用地確保は安くなくてはムリだ。羽根の県の庁舎の利用はできないか。4階建て？	萩原
2	庁舎一本化、上記により良。町づくりの芽が出てくる事を望む。	萩原
3	まずは庁舎の位置をどこにするかではなく、庁舎の一本化が真に必要なのか？を徹底的に議論すべき。今日の説明会の内容には直接関係ないが、説明会の途中で携帯が何回も鳴った。(しかも同じ人)。基本的には個人のマナーであるが、説明会前に注意されたい。	萩原
4	行政と特に観光産業(地)とは、程よい間隔で近すぎず離れすぎずの関係が良いと思います。従って観光は下呂、行政は萩原といった分担、住み分けが必要です。分庁方式は無理な合併の妥協の産物なので合併した以上一本化はやむを得ないと思います。旧下呂館跡地購入を決めるとき、下呂温泉の観光関係圧力が強力であったため、使用目的も決まっていな跡地を多数決で決めてしまうという誤りがあった反省をすべきです。庁舎問題もこれと同じにならないか心配。	萩原
5	厳しい財政の中、借入金の返済の具体的な計算ができていますか。	萩原
6	産業の少ないこの地において非常に不安です。子どもたちに借金の負担が増えるのはかわいそうです。一本化ありきのアンケートであり、話だったように思います。一本化が本当に必要がどうかというところから、しっかり進めてほしいです。	萩原
7	・参加したことで庁舎の一本化は災害対策や業務等で必要だと思いました。しかし、10年考えて思うように進んでこなかったことがこの計画では対策として納得できず不十分だと思った。 ・この広い地域のどこに一本化しても交通の便は悪くなると思う。旧下呂や萩原が中央になるかもしれないが、どこであっても小坂や金山であっても交通の便が整備されれば利用しやすくなると思う。金山振興事務所が耐震ありで4000㎡あることを考えれば施設を有効に使う方法も市民に金銭の負担は少なると思った。 ・10年後の下呂市がどうなっているのか？確実なこと人口減少と高齢社会がさらに進んでいる中で、本当に必要なものと、あるとよいけど我慢しなければならないものを行政は市民に分かりやすく指してほしい。リーダーとして活躍して欲しい。 ・はじめにの中にある「市民との協働による新たらしいまちづくり」と市庁舎の一本化の課題は全く別のもののように見え、あまりにも一緒に捉えすぎて「はじめに」に書かれているので私には理解しづらい。 ☆地域づくりこそ、一本化する必要がある。	萩原
8	・皆さんの意見では、やはり駐車場の確保、説明書には職員の駐車場の面積が入ってない、6000㎡以上必要になるのでは。 ・庁舎の一本に対してのアンケート 賛成75、反対(不安)97 以外でした。	萩原
9	県総合庁舎の利用を考えるべき	萩原
10	市民の心配は財政に関して多く心配しているようです。	萩原
11	説明会を開いていただきありがとうございました。私としましては、行政の中心である萩原地内に庁舎をつくっていただきたい。もっと幅広い市民の意見も聞くべきではないか。	萩原
12	萩原町羽根の総合庁舎利用しながら新しくする。土木も林務関係も県と協力する。	萩原
13	・合併特例債を利用できる機関に実施すべきである。 ・駐車場の十分取れる場所～萩原地区 ・土地代金の軽減	萩原
14	庁舎の場所は16か所の延べ床面積6000㎡以上の中から、選んでほしい。萩原町内が適している。	萩原
15	財政面等より、より具体的な予定地を決めて	萩原
16	振興事務所の機能は残してほしい。財政面での不安が大きい。	萩原
17	・良いと思いますが、もっと多くの人の意見を聞くのが大事では？ ・金山、小坂の人の意見はどんなことを言って見えるのか。	萩原
18	下呂総合庁舎を利用する事も考え、増築で利用できないか。駐車場等は充分でないかと思う。	萩原
19	庁舎一本化はまだ早いと思う。	萩原
20	若い人達の参加が少なすぎるため残念であり、今後はもっと若い人達の意見を聞いてあげる機会、説明会を開催して欲しいです。	萩原
21	小坂振興事務所の人員が減ってサービスが低下することが心配です。	小坂
22	庁舎の一本化は市民の心の信じあいができることが前提条件。庁舎だけ早まると市民と地域に溝をつくり、町づくりの足を引っばることになりかねない。災害の一番の対策は建物ではなく人。じゅうなんに機敏に対応できる人づくり(職員特に)。	小坂
23	何しろ下呂市は10年後人口2万人になるので、新庁舎はいらないと思う。萩原の総合庁舎を県の人と仲良く使うのが一番効率的だと思う。新庁舎の維持管理費いくらかかるのか概算していない。	小坂

問5		
No.	自由記入	会場
24	将来に負債を残さないでほしい。全部を旧下呂町に集めないでほしい。各振興事務所を強化して災害時に先頭に立てるようにしてほしい。市庁舎を一本化する場合は下呂総合庁舎が良いと思う。	小坂
25	新庁舎の件については最終的には公平感のある良識ある判断を！	小坂
26	将来に負債を残すことなく、総合庁舎に市役所を持つていくことが一番ベターな方法と思う。各振興事務所は耐震性の無いところが多くあり、工事をしなければならないと思うが、建物は小さくしても今まで通りの業務は継続してほしい。	小坂
27	振興事務所耐震化が現在なしとのこと、庁舎と同時進行すること。※高齢者人口減少今後下呂市として何年もつのか。	小坂
28	新庁舎は萩原地内で物色してほしい。なぜなら下呂と比較した場合、地価単価の事を考えると格段の差があり、安くあげてことを念頭に進めてください。	小坂
29	資料自体は大きな字で大変わかりやすく今までの委員会で提示された資料について全体ではありませんでしたが、あの時間で説明するには良かったと思います。ただし今までは行政主体の話がほとんどのため他のやり方に対して比較することがなく、例えば総合庁舎の活用など積極的に取り組むことや、同時に各振興事務所の今後を見据えた話し合いがなされない限り、地域の方の理解を得られないと感じました。振興事務所の耐震化・整備するにも予算がかかり、特例債を使うべきだと思います。下呂館購入、小中学校耐震化、金山病院、クリーンセンターなどお金を使うことがたくさんあり、これ以上借金は…という気持ちはとてもわかります。全て今の大人が決め、子供たちに借金を負わせている。次の人たちに考えてもらうべく事も必要で、やはり今は借金を少なくし、施設を使い続けられる知恵を絞りださなければいけないときかと思います。	小坂
30	身の丈に応じた施設には同感、高齢化率が大きい下呂市では人口流出もあり、今後どれだけの市税が見込まれるか大変不安です。庁舎は必要最小限のものとし、ランニングコストについても試算し、どれだけ財政にのっかってくるのか検証しなければなりません。また意見の中に出了た庁舎6,000㎡以外に職員の駐車場手配において多額のランニングコストが発生します。庁舎建設に関しても10年後20年後にかかる修繕費を見積もっていかなければなりません。たくさんのデータがあることを改めて感じました。	下呂
31	2件について意見を述べさせていただきましたが、もう少し具体的にお話をして、又お話を聞いてと思い、事務所へお伺いしてお話しさせていただきたいです。	下呂
32	アクセス面を重視、下呂地内に新築建設。委員会の方々に尽力願います。	下呂
33	一本化した庁舎のアンケートから考えると、公共交通の利便性、下呂病院の跡地(皆さんが良く知っている場所)に庁舎ができる事を望みます。庁舎の整備では、増改築するには萩原、下呂でも今の場所ではせますぎる。	下呂
34	小坂から金山の中心が小川であり、幸田の病院の跡地がよい。市役所がリハビリ棟で駐車場が本館で庁舎と駐車場を橋でわたる。	下呂
35	下呂温泉病院跡地に建設。駅に近い(利用者へ便利)に思う。	下呂
36	一本化をすべき。それに伴う組織改革、機能の充実等により市民の要望に対応いただきたい。	下呂
37	複合機能を含んだ庁舎も考えているのか。	下呂
38	・金山地域の皆さんの利用を考えると、下呂地域に庁舎を一本化した方が良いと考えます。・旧下呂町は人口が多く、下呂地域庁舎一本化が良い。	下呂
39	下呂の財政は大丈夫でしょうか。よく検討してください。	下呂
40	一本化した場合、既存の庁舎はどうなるのか知りたい。例えば残すとすると場合、さらなる財政負担が増えると考えますが、一本化する前に取り壊し土地売却など詳しく市民にお答えいただいたうえで一本化であってほしいと思います。	下呂
41	・一本化した場合、人員削減△60人としているが実現できるのか？サービス低下はしないのか？	下呂
42	・下呂館を多額な(10億と聞いています。)税金で下呂市が購入していますが(壊す予算もとれないのですか？)さらなる税負担となると見込まれますが、下呂市民1人当たりの借金はいくらになりますか？公表したうえでアンケートを再度とって考慮してください。(1000人/2000人答では少なすぎます。)	下呂
43	馬瀬、小坂、金山、下呂で下呂が中心で下呂に総合庁舎を作っていただくようお願いしたいと思います。	下呂
44	もう少し具体的な話が聞けると思ったが残念	下呂

問5		
No.	自由記入	会場
42	アンケート調査結果が私の思っている内容どおりで共通する考え方が市民の皆さんにあることがわかり理解できました。 場所ではできるだけ市の中央部で交通の便がよい所となると、検討委員の方には重大な責任がある事でしょうが期待ある結果を望んでいます。説明会に出席してプラスになること多くありました。	下呂
43	下呂温泉病院跡地に新庁舎を法務局の出張所も庁舎に入れる。観光客の為に、防災安心して観光ができるように。	下呂
44	新築費23億円で建てられるか？	下呂
45	(案)①旧下呂温泉病院跡地を下呂市総合庁舎にする。そして小坂、萩原、馬瀬、金山4庁舎には遠方居住者のための振興事務所を充実させること。②各振興事務所では、ほとんどの行政事務が行えることが大事である。	下呂
46	合併特例債を使い、庁舎を一本化することは、少し遅くないのか？(間に合うか)特例債で作ることを前提で早くする。病院跡地にて新庁舎にする。	下呂
47	市庁舎新築となれば病院跡地が最適と考えます。それに伴い図書館の充実等文化面の施設もお願いしたい。	下呂
48	庁舎一本化は、やはり下呂市中心になる下呂地域に造ることが大切なことです。行政は市民のため、力を出してもらいたい。	下呂
49	下呂市の中心は下呂にお願いしたいです。	下呂
50	庁舎の一本化はそもそも誰が希望しているのだろうか？アンケートでは年に1～5回の来場者しかいないのであれば、もっと、意見を庁舎利用者に限定した調査も必要だと思う。ありきではなく、何が必要で一本化にするのかをまとめる必要があると思われる。合併特例債の期限もあるが、アンケート以外での情報収集が必要では…。まずは一本化すべきか？。庁舎をどのようなシーンで利用するのか？。防災面だけなら、消防本部(中署)を利用することはできないのか？。大きなお金をかける以上、より使いやすいもの、観光面、福祉面、下呂の入口(顔)となるような施設を望む。	下呂
51	下呂病院跡地に庁舎一本化に利用しなければ病院跡地を購入する意味がない。将来、リニアを見込んだバスの利便性も考える。バスロータリーも造る。収益を作ることも考える。JRとの連携。	下呂
52	庁舎整備に合併特例債がどれだけ利用できるのかわからなかった。	下呂
53	当日の説明会進行について、下呂地区出席者(高齢者で発言者)はひどい！ひどすぎる。①質問でなく長話、②自分勝手な意見ごり押し 次回以降は質問時間を2分以内とし、簡潔に事項を先に発言してもらうようにして、長い場合は、司会者側で打ち切ることも宣言しておくようにしていただきたいと思います。質問者を大勢にするため、短時間とするかわりに、関連質問を問いかけてください。「説明資料〇〇ページの△項について」のようにルールを提案し、指導するように希望します。 ①必要性の①防災対策について、耐震と拠点が無くなる？災害対応の拠点とは指令指示を出し、現地現場で動かすところであり、「状況を把握して報告しろ！」だけではないですか。救命救助作業は現場であり、避難先もそれぞれの地域の振興事務所の方が近く役立つのではないですか。分かれていることを前提に災害対策マニュアルと行動指針を作り、訓練を重ねれば解決できるはず。指令が届かなければ現地の消防団は何もしないとも思っていますか。被災現場に近い市民も含め本庁舎から飛んでくるのを期待しては遅れる！ ②利便性について、職員はていねいに担当先を案内している！いくつかの用件を1か所で1度に済まそうとする市民は少なく、それで苦情などを言うはずがない。少子化と人口減が進めば大きな庁舎も不用で、各振興事務所に防災機能を付加整備した方が役立つのではないのでしょうか。耐震建物(金山と星雲別館)を充実利用すべき。 ③6,000㎡が必要ではなく、初めは財源に無理なく他の重要事業の予算に支障の無い額を把握して、その枠内で整備すべきではありませんか。公約とは言え時代を将来と財政負担を考え直して進めるべきです。 ④あれもこれも付加する希望(下呂地区)は財政破たんを招くだけで良くない。 ⑤分庁舎の決定的欠点が無い！明示してください。市民サービスには分庁も振興事務所の強化充当の方が有効です。 万一、特例債が不適合となった場合の財政負担の例を明示してください。現在明らかな重要緊急大事業は何がいくつかあるのか説明してください。クリーンセンター建設が先、し尿処理場も未決定では庁舎の順番は後回しするべき。	下呂
54	金山庁舎は4,000㎡あるので、2,000㎡の新築をすれば良いと思う。安価で済む。新築は議会棟が良い。下呂市の中であれば金山がだめな理由はないと思う。阿寺のない地域の選定	金山

問5		
No.	自由記入	会場
55	多面的な角度から庁舎一本化を分析した上で、総合的に評価して意思決定をされるべきである。仕事のやり方も含めて、生産性、効率性を向上できるシステム構築の中での「庁舎一本化」として捉えるべきである。	金山
56	庁舎の一本化は早急に進めるべきだと思います。	金山
57	新庁舎の位置をどこにするのか？どこに庁舎を建てるのか？問題はこれ1本にしぼられると思います。平成30年はすぐにやってきます。早くから具体的に候補地を示し、市民の理解を得ていかないと間に合わないのでは？	金山
58	「市民との協働による新しいまちづくり」が行政改革（財政を含む）にとって必須の条件であり、避けて通れない。だから、どのように今後関わってもらうのか、このことをもっと市民との情報共有を図らねばならないと思います。	金山
59	一本化に対しては良いと思う。高齢化に伴う親しみ入りやすい庁舎を考えてほしい。庁舎の支所はなくなり、僻地は何かと、何事も遅れがちになる。その面を振興事務所の適確な対応を願いたい。（少人数となる事に対し）	金山
60	金山住民として金山に庁舎をと言いたい。しかし、無理だと思われます。その分、金山がないがしろにならないような処理をお願いしたい。	金山
61	合併特例債が利用できるうちに、早急に完成を目指して取り組んでいただきたいと思います。	金山
62	今回の説明会では前向きな意見が多く、大変有意義な感じがしました。	金山
63	あまりわけがわからない	馬瀬
64	早期に庁舎を整備すべきである。	馬瀬
65	アンケートを市民の人口割で出すのではなく、市役所の職員が一番つかいごちや利便性を知っておられると思います。もう一度職員対象にアンケートを取られてはいかががでしょうか。 アンケートは一本化を考える資料としては、あまり参考になりませんでした。（質問読みました） 市役所職員の方々もご苦労様です。ありがとうございました。	馬瀬
66	庁舎は五十歩百歩、100年後でも通用すること。人々が集まるところ、最大な用地面積、新庁舎までの道路費用が不必要なところ、振興事務所は残すこと。地域が元気が出る事。意見の強い地域に引かれる事なく、下呂総合庁舎ぐらいのスペースで良い。以上	馬瀬
67	1. 最大限情報を市民の多くの方に発信していただきたい。	馬瀬
68	一本化は必要です。交通の利便性が第一と思います。	馬瀬
69	1. 位置は市内の中央が良いのではないかと 2. 今後の会（検討委）の情報をペーパーで知らせてほしい。インターネットなどだけでなし。	馬瀬
70	資料がわかりにくい。 アンケートの結果数値があいまいで価値が無いと思う。一本化は必要だと思うが、この資料では説明になっていない。詳しいデータがほしい。予算23億の中に土地代は入っていない。	馬瀬
71	下呂地域又は萩原地域のいずれかで新庁舎建設を望みます。駐車場も十分確保をお願いしたい。フロア全面が見渡せるような建物設計をお願いしたい。	馬瀬